

平成27年度予算での 基金の見通し

◇スライドでの説明は、法令に基づくもの以外は、個人の考え、認識によるものです。極力、客観的なものに努めるようにしています。
逐次、修正、加筆していきますのでご了承ください。

「財政調整基金」の状況!!

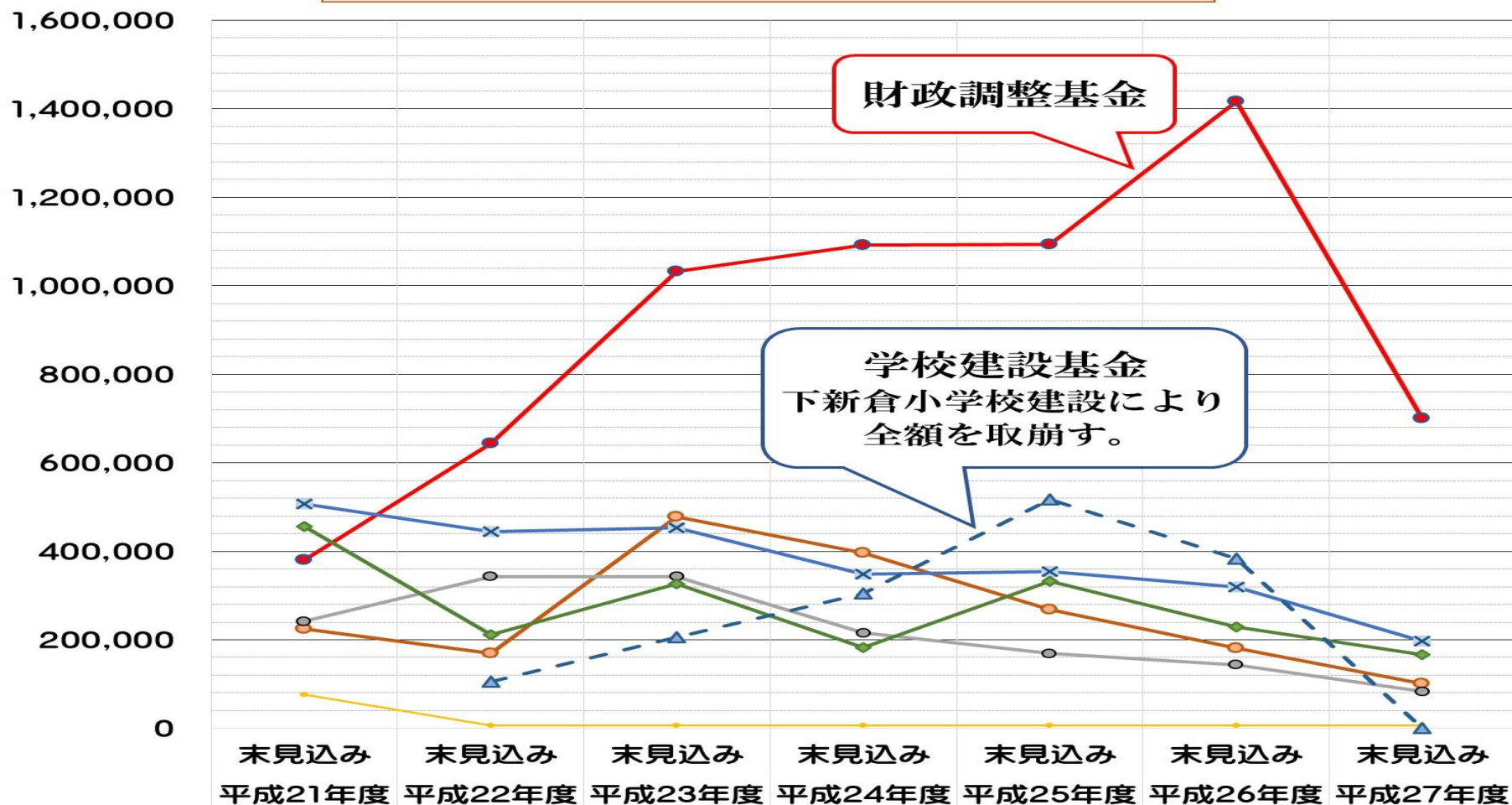
- ◇「財政調整基金」…年度間の財源調整のための基金。
- ◆平成27年度末見込額は、**約7億円**。(平成26年度末見込額約14億円)5月の臨時議会での補正で、**約6億7,800万円**となった。
- ◇平成19年度当初予算で約5億1,900万円を取崩して以来の取崩額の規模となっています。
(18年度末基金見込み額は、約12億1,000万円)
- ◆平成21年度には、年度末見込み額が、約3億8,000万円まで落ち込んでいます。その後、当初予算での取崩しを避け、繰越金などで年度途中で積立ててきました。
- ◇積立原資として、先の繰越金や入札差金や不用額を充ててきました。しかし最近では、事業を絞り込んでいることから、繰越金も5億円を当初予算で組込んでいることから、年度途中で各基金への積立てが厳しくなることが予想されます。

「基金」の今後に注視!!

- ◇「財政調整基金」…年度間の財源調整のための基金。
- ◆平成27年度は、大きく取崩して財源としています。
- ◇「財政調整基金」は、年度間の財源調整、災害時の財源としても貴重であり、積立の目標は、標準財政規模の5~10%としています。
- ◆平成25年度決算で見ると、和光市の標準財政規模は、142億5,000万円程度で、7億円~14億円となります。
- ◇安定した財政運営や他の目的基金の積立、今後の都市基盤整備などを考慮すると、基金の積立てが肝要です。
(平成26年度の繰越金がどうなるか注意?)

「財政調整基金」の大幅な減少!!

一般会計 基金残高見込みの推移 (単位:千円)



- 財政調整基金
- 公共用地取得事業
- 学校教育施設整備
- 市債管理
- × 公共施設整備
- ◇ 都市基盤整備
- ▲ 学校建設基金